記者発表資料

令和6年12月18日

令和６年７月の大雨で被害のあった子吉川圏域において「水災害対策プロジェクト」を始動します。

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

令和6年7月の大雨で被害のあった子吉川圏域において、再度災害防止のための「子吉川圏域水災害対策プロジェクト」を始動します。
プロジェクトでは、国、県、市が連携し、河川整備及び災害復旧等を集中的に実施するとともに、あらゆる関係者が連携した流域治水を推進します。

＜概要＞
子吉川圏域水災害対策プロジェクト
・事 業 費　国：約60億円程度、県：約20億円程度
・事業期間　令和6年度～令和10年度

※詳細については、以下のURLよりご覧下さい。
http://www1a.thr.mlit.go.jp/Bumon/J75001/river/10_ryuuikichisuikyougikai/index2.html

＜発表記者会＞：秋田県政記者会

問い合わせ先

【国管理区間に関すること】
国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所
（住所）秋田市山王一丁目10－29 （電話）018－823－4167
副所長（河川） 成田（なりた） 正喜（まさき） （内線204）
流域治水課長 田中（たなか） 益栄（やすよし） （内線351）

【県管理区間に関すること】
秋田県 建設部 河川砂防課
（住所）秋田市山王四丁目1番1号 （電話）018－860－2511
河川砂防課長 高杉（たかすぎ） 英幹（ひでみき）
チームリーダー 菅原（すがわら） 敏弘（としひろ）

子吉川圏域　水災害対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

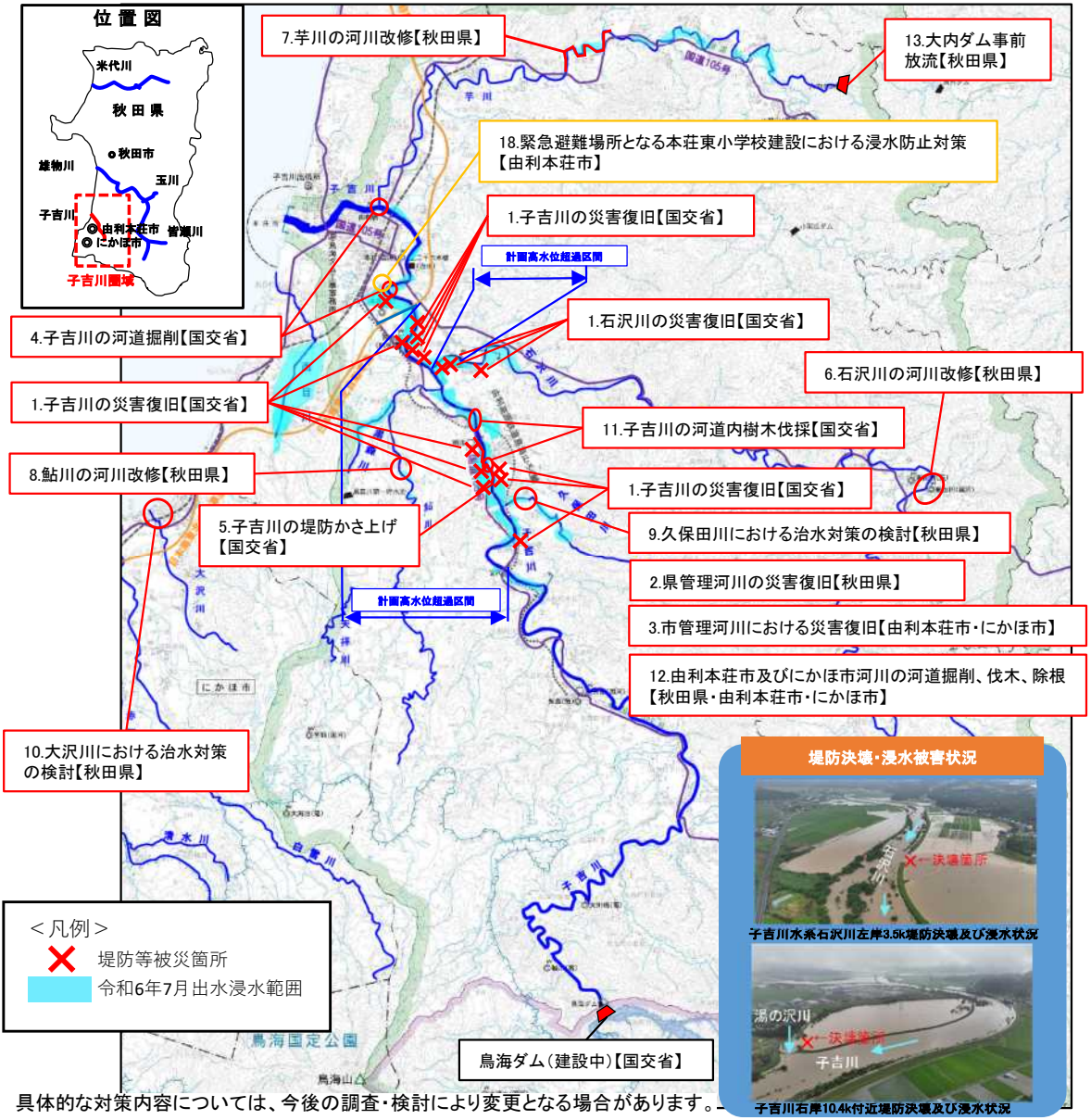
○ 子吉川及び支川石沢川においては、令和6年7月24日からの大雨により、計画高水位を超過し、堤防決壊や堤防越水などにより甚大な被害が発生したことを踏まえ、国、県、市等が連携し、河川整備及び災害復旧等を緊急的に実施。

○ 令和10年度までのプロジェクトとして、令和6年7月と同規模の洪水に対し、由利本荘市中心市街地の治水安全度を保持しながら子吉川中流域における浸水被害の軽減を図る。

○ また、気候変動による更なる降雨量の増大に対応するため、河川整備計画の見直しを図る。

○ 子吉川圏域各河川においても災害復旧に加え、河川整備を緊急的に実施し、浸水被害の軽減を図る。

○ その後も、子吉川では令和14年度までに鳥海ダム完成により、令和6年7月と同規模洪水及び戦後最大規模洪水における床上浸水被害の解消を図る。



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

■事業期間　令和6年度　～　令和10年度

■事　業　費　国：約60億円程度、県：約20億円程度　※県事業費は災害復旧費のみ計上

■目　　標　令和10年度までのプロジェクトとして、令和6年7月と同規模の洪水に対し、由利本荘市中心市街地の治水安全度を保持しながら子吉川中流域における浸水被害の軽減を図る。
子吉川圏域各河川においても災害復旧に加え、河川整備を緊急的に実施し、浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策
1～13は左図参照
14.砂防堰堤の整備【秋田県】
○集水域での対策
15.田んぼダムの取組に向けた普及・啓発活動【秋田県】
16森林の整備及び保全【林野庁・秋田県・由利本荘市・にかほ市・森林整備センター】
17.農業用廃ため池を活用した流出調整の検討【由利本荘市】

■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域での対策
18.緊急避難場所となる本荘東小学校建設における浸水防止対策【由利本荘市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策
19.水害リスク空白域の解消（洪水浸水想定区域図作成）【秋田県】
20.水防体制の整備・強化（危機管理型水位計及び河川監視カメラ設置）【秋田県】
21.内水浸水想定区域図作成【由利本荘市】
22.雨水管理総合計画作成【由利本荘市】
23.洪水浸水ハザードマップによる水害リスクの周知【由利本荘市・にかほ市】
24.浸水センサ等を活用した安全・安心の町づくりの推進【にかほ市】
25.自然災害伝承リーフレット作成【国交省】

